

おおさかQネット「飲食店における食品ロス」に関するアンケート 分析結果概要

- 実施期間 平成31年3月26日（火）から3月27日（水）
- サンプル数 月に2回以上、自分ひとり又は少人数（6名程度まで）で外食をする18歳以上の大阪府民1,000サンプル  
※性別、年代は均等に割付

（上段：回答者数、下段：横%）

		該当数	18 ～ 29 歳	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 以上
全体		1000 100.0	200 20.0	200 20.0	200 20.0	200 20.0	200 20.0
性別	男性	500 100.0	100 20.0	100 20.0	100 20.0	100 20.0	100 20.0
	女性	500 100.0	100 20.0	100 20.0	100 20.0	100 20.0	100 20.0

## 1. 調査目的

飲食店における食品ロスを減らすために、消費者が食べ残しをする理由等を把握するとともに、実際に飲食店で行う食品ロス対策に対する消費者の理解度を調査し、効果的な取り組みを検討することを目的に本調査を実施する。

## 2. 主な調査（検証）項目

仮説1：18歳～29歳と60歳以上の方が、他の世代に比べて、飲食店に対しご飯等の量を選択できるようにしてほしいと答える人の割合が高い。

仮説2：高齢層の方が、若年層に比べて、食べ残しを持ち帰りたい人の割合が高い。

仮説3：食べ残しを持ち帰りたい人は、そうでない人に比べて、持ち帰った料理の衛生面での責任は自己責任と思っている人の割合が高い。

## 3. 主な調査（検証）結果

仮説1：ご飯等の量を選択できるサービスの需要については、年代別では、統計的な有意差は見られなかった。なお、性別では、女性の方が男性に比べて、ご飯等の量を選択できるサービスを希望する人の割合が高かった。

仮説2：食べ残しの持ち帰り意向については、年代別では、統計的な有意差は見られなかった。なお、性別では、女性の方が男性に比べて、食べ残しを持ち帰ると答えた人の割合が高かった。

仮説3：食べ残しを持ち帰る人は、持ち帰らない人に比べて、持ち帰った料理の衛生面での責任は自己責任と思っている人の割合が高かった。

(注)

1. 「おおさかQネット」の回答者は、民間調査会社に登録されたインターネットモニターであり、回答者の構成は無作為抽出サンプルのように「府民全体の縮図」ではない。そのため、アンケート調査の「単純集計（参考）」は、無作為抽出による世論調査のように「調査時点での府民全体の状況」を示すものではなく、あくまで本アンケートの回答者の回答状況にとどまる。
2. 割合を百分率で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがある。
3. 図表中の表記の語句は、短縮・簡略化している場合がある。
4. 図表中の上段の数値は人数（n）、下段の数値は割合（%）を示す。
5. 図表下にカイ2乗検定の値（p値）を記載しているものは、信頼度5%水準で統計上の有意差がみられたもの。
6. 複数回答のクロス集計については、カイ2乗検定を行っていない。

## 1. 食べ残し防止のために飲食店に求めるサービスについて

食べ残し防止のために飲食店に求めるサービスと年代等との関係性について検証した。

### 1-1 【参考】食べ残し防止のために飲食店に求めるサービス（年代別）

- 食べ残し防止のために飲食店に求めるサービスは、すべての年代で「量を選択できるようにする（18～29歳 54.0%、30歳代 52.0%、40歳代 53.0%、50歳代 57.0%、60歳以上 64.0%）」が最も多かった。

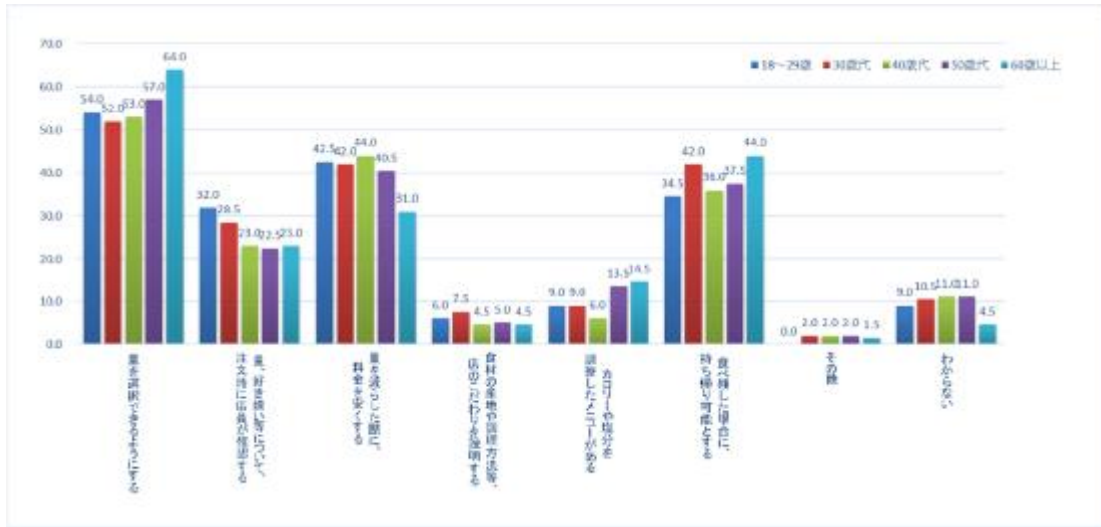
次いで、50歳代以下は「量を減らした際に、料金を安くする（18～29歳 42.5%、30歳代 42.0%、40歳代 44.0%、50歳代 40.5%）」、60歳以上は「食べ残した場合に、持ち帰り可能とする（44.0%）」であった。なお、30歳代は同率で「食べ残した場合に、持ち帰り可能とする（42.0%）」が挙げられた。

3番目は、18～29歳、40歳代及び50歳代は「食べ残した場合に、持ち帰り可能とする（18～29歳 34.5%、40歳代 36.0%、50歳代 37.5%）」、60歳以上は「量を減らした際に、料金を安くする（31.0%）」であった。（図表 1-1）

【図表 1-1】

Q4 あなたは、飲食店にどのようなサービスがあれば、食べ残しがなくなると思いますか。(MA)

		該当数	量を 選択 できる ように	注 文、 時 に き 嫌 い 等 に つ い て、	料 金 を 減 ら し た 際 に、	店 食 材 の こ だ わ り や 調 理 方 法 等、	し カ ロ リ メ ニ ュ ー や 塩 分 を 調 整	持 食 べ 残 り 可 能 と す る、	そ の 他	わ か ら な い
全 体		1000 100.0	560 56.0	258 25.8	400 40.0	55 5.5	104 10.4	388 38.8	15 1.5	92 9.2
年 代	18～29歳	200 100.0	108 54.0	64 32.0	85 42.5	12 6.0	18 9.0	69 34.5	0 0.0	18 9.0
	30歳代	200 100.0	104 52.0	57 28.5	84 42.0	15 7.5	18 9.0	84 42.0	4 2.0	21 10.5
	40歳代	200 100.0	106 53.0	46 23.0	88 44.0	9 4.5	12 6.0	72 36.0	4 2.0	22 11.0
	50歳代	200 100.0	114 57.0	45 22.5	81 40.5	10 5.0	27 13.5	75 37.5	4 2.0	22 11.0
	60歳以上	200 100.0	128 64.0	46 23.0	62 31.0	9 4.5	29 14.5	88 44.0	3 1.5	9 4.5



## 1-2 年代と食べ残し防止のために量を選択できるサービスの需要との関係性

年代によって、食べ残し防止のために量を選択できるサービスの需要が変わるのかを検証する。

- ・食べ残し防止のために飲食店に求めるサービスについて、「量を選択できるようにする」を選択した層を【量を選択できるようにする】、選択しなかった層を【それ以外を選択】とした。なお、「わからない」は除いた。

○ 「量を選択できるようにする」を選択した人の割合については、60歳以上が他の世代に比べてやや高かったものの、統計的な有意差は見られなかった。(図表 1-2)

【図表 1-2】

Q4\_rec\_MtS あなたは、飲食店にどのようなサービスがあれば、食べ残しがなくなると思いますか。(SA)

		該当数	量を選択できるように	それ以外を選択
全体		908 100.0	560 61.7	348 38.3
年代別	18～29歳	182 100.0	108 59.3	74 40.7
	30歳代	179 100.0	104 58.1	75 41.9
	40歳代	178 100.0	106 59.6	72 40.4
	50歳代	178 100.0	114 64.0	64 36.0
	60歳以上	191 100.0	128 67.0	63 33.0

■ 量を選択できるようにする      ■ それ以外を選択

		(n)	(%)	
全体		908	61.7	38.3
年代別	18～29歳	182	59.3	40.7
	30歳代	179	58.1	41.9
	40歳代	178	59.6	40.4
	50歳代	178	64.0	36.0
	60歳以上	191	67.0	33.0

### 1-3 性別と食べ残し防止のために量を選択できるサービスの需要との関係性

性別によって、食べ残し防止のために量を選択できるサービスの需要が変わるのかを検証する。

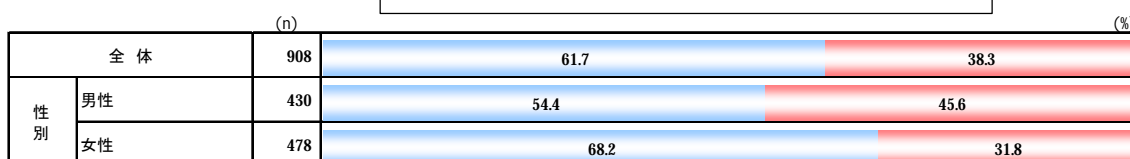
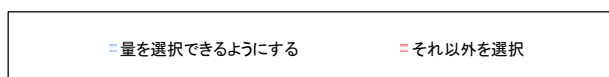
○ 「量を選択できるようにする」を選択した人の割合については、女性の方が、男性に比べて高かった。(図表 1-3)

【図表 1-3】

Q4\_rec\_MtS あなたは、飲食店にどのようなサービスがあれば、食べ残しがなくなると思いますか。(SA)

		該当数	量を選択できるようにする	それ以外を選択
全体		908 100.0	560 61.7	348 38.3
性別	男性	430 100.0	234 54.4	196 45.6
	女性	478 100.0	326 68.2	152 31.8

p値=0.00002



1-4 【参考】食べ残し防止のために量を選択できる方法として望ましいもの（単純集計）

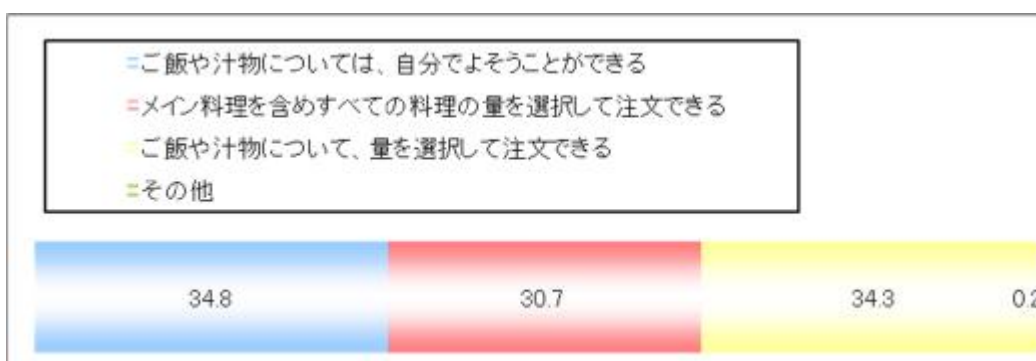
食べ残し防止のために量を選択できるサービスを希望した人について、量を選択できる方法として望ましいものを質問した。

- 量を選択できる方法として望ましいものは、「ご飯や汁物については、自分でよそうことができる（34.8%）」、「メイン料理を含めすべての料理の量を選択して注文できる（30.7%）」、「ご飯や汁物について、量を選択して注文できる（34.3%）」であり、ほぼ同じ割合だった。（図表 1-4）

【図表 1-4】

Q5 前問で「量を選択できるようにする」を選択された方に伺います。量を選択できる方法として望ましいのはどれですか。あなたが最も希望するものをひとつ選択してください。(SA)

		回答数	%
全 体		560	100.0
1	ご飯や汁物については、自分でよそうことができる	195	34.8
2	メイン料理を含めすべての料理の量を選択して注文できる	172	30.7
3	ご飯や汁物について、量を選択して注文できる	192	34.3
4	その他	1	0.2



## 2. 食べきれなかった料理の持ち帰り意向について

食べきれなかった料理の持ち帰り意向と年代等との関係性について検証した。

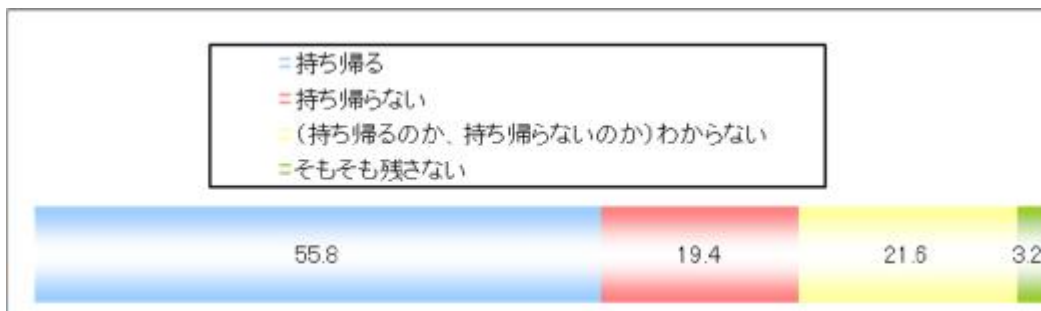
### 2-1 【参考】 食べきれなかった料理の持ち帰り意向（単純集計）

- ㊦ 食べきれなかった料理を持ち帰ることができるとしたら持ち帰るかとの質問に対し、「持ち帰る」と回答した人の割合は 55.8%で、最も高かった。（図表 2-1）

【図表 2-1】

Q14 あなたは、外食時に食べきれなかった料理を持ち帰ることができるとしたら、持ち帰りますか。(SA)

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	持ち帰る	558	55.8
2	持ち帰らない	194	19.4
3	(持ち帰るのか、持ち帰らないのか)わからない	216	21.6
4	そもそも残さない	32	3.2





## 2-2 年代と食べきれなかった料理の持ち帰り意向との関係性

年代によって、食べきれなかった料理の持ち帰り意向が変わるのかを検証する。

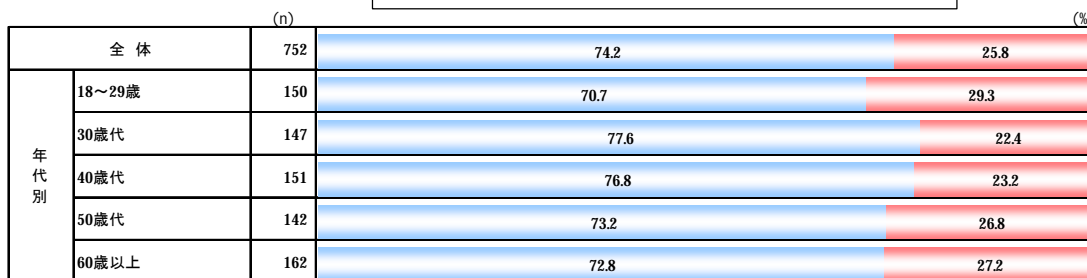
- ・食べきれなかった料理を持ち帰ることができるとしたら持ち帰るかとの質問に対し、「(持ち帰るのか、持ち帰らないのか) わからない」及び「そもそも残さない」と回答した人は除いて検証した。

○ 「持ち帰る」を選択した人の割合については、年代別で、統計的な有意差は見られなかった。(図表 2-2)

【図表 2-2】

Q14\_rec\_MtS 食べ残しを持ち帰るか否か(SA)

		該当数	持ち帰る	持ち帰らない
全体		752	558	194
		100.0	74.2	25.8
年代別	18～29歳	150	106	44
		100.0	70.7	29.3
	30歳代	147	114	33
		100.0	77.6	22.4
	40歳代	151	116	35
	100.0	76.8	23.2	
	50歳代	142	104	38
	100.0	73.2	26.8	
	60歳以上	162	118	44
	100.0	72.8	27.2	



### 2-3 性別と食べきれなかった料理の持ち帰り意向との関係性

性別によって、食べきれなかった料理の持ち帰り意向が変わるのかを検証する。

○ 「持ち帰る」を選択した人の割合については、女性の方が男性に比べて高かった。

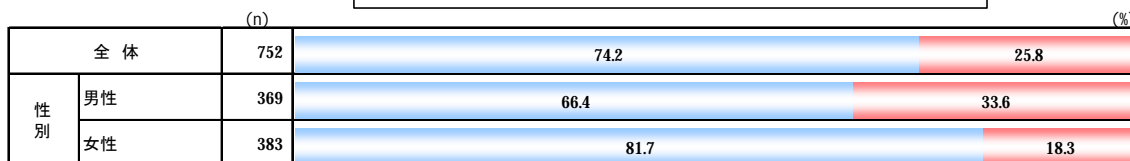
(図表 2-3)

【図表 2-3】

Q14\_rec\_MtS 食べ残しを持ち帰るか否か(SA)

		該当数	持ち帰る	持ち帰らない
全体		752 100.0	558 74.2	194 25.8
性別	男性	369 100.0	245 66.4	124 33.6
	女性	383 100.0	313 81.7	70 18.3

p値=0.00000



### 3. 持ち帰った料理の衛生面での責任について

食べきれなかった料理の持ち帰り意向と持ち帰った料理の衛生面での責任についての考え方との関係性について検証した。

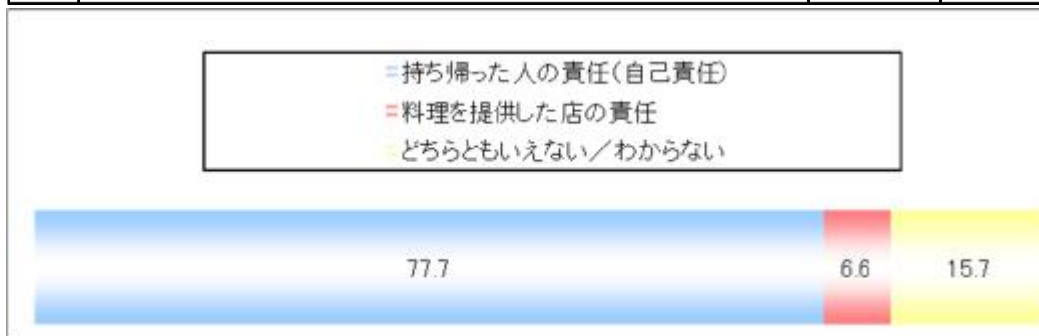
#### 3-1 【参考】持ち帰った料理の衛生面の責任（単純集計）

U 持ち帰った料理の衛生面の責任について、「持ち帰った人の責任（自己責任）」と回答した人の割合は 77.7%で、最も高かった。（図表 3-1）

【図表 3-1】

Q17 あなたは、外食時に食べきれなかった料理を持ち帰った場合の衛生面での責任（食中毒の危険性）は、誰が負うべきだと思いますか。（SA）

		回答数	%
全体		1000	100.0
1	持ち帰った人の責任（自己責任）	777	77.7
2	料理を提供した店の責任	66	6.6
3	どちらともいえない／わからない	157	15.7



#### 3-2 食べきれなかった料理の持ち帰り意向と持ち帰った料理の衛生面での責任との関係性

食べきれなかった料理の持ち帰り意向によって、持ち帰った料理の衛生面での責任についての考え方が変わるのかを検証する。

- ・食べきれなかった料理を持ち帰った場合の衛生面での責任は誰が負うべきかとの質問に対し、「持ち帰った人の責任（自己責任）」と回答した層を【自己責任】、「料理を提供した店の責任」、「どちらともいえない／わからない」と回答した層を【店の責任・どちらともいえない】とする。
- ・食べきれなかった料理を持ち帰ることができるとしたら持ち帰るかとの質問に対し、「（持ち帰るのか、持ち帰らないのか）わからない」及び「そもそも残さない」と回答した人は除いて検証した。

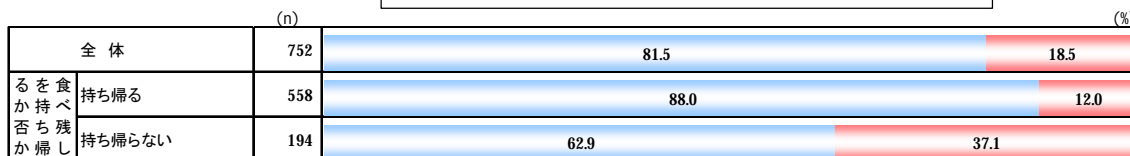
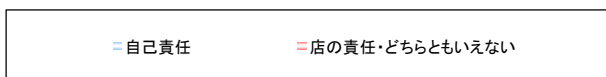
○ 持ち帰った料理の衛生面での責任については、食べ残しを持ち帰る人の方が、持ち帰らない人に比べ、自己責任と思っている人の割合が高かった。(図表 3-2)

【図表 3-2】

Q17\_rec 持ち帰った食品に対する衛生面での責任の所在 (SA)

		該当数	自己責任	店の責任・どちらともいえない
全 体		752 100.0	613 81.5	139 18.5
持ち帰るか 食べ残しを 持ち帰るか 持ち帰らない	持ち帰る	558 100.0	491 88.0	67 12.0
	持ち帰らない	194 100.0	122 62.9	72 37.1

p値=0.00000



#### 4. 【参考】飲食店における食べ残しの現状及び飲食店の食品ロス対策に対する印象

参考として、飲食店における食べ残しの現状及び飲食店の食品ロス対策に対する印象にかかる調査結果を掲載する。

##### 4-1 自分ひとり又は少人数の外出での食べ残しをする頻度

・自分ひとり又は少人数の外出において食べ残しをすることがあるかとの質問に対し、「よくある」、「たまにある」、「ほとんどない」と回答した層を【食べ残すことがある】、「まったくなく」と回答した層を【食べ残さない】とする。

- 自分ひとり又は少人数の外出での食べ残しをする頻度については、女性の方が、男性に比べ、【食べ残すことがある】と回答した人の割合が高かった。(図表 4-1)
- 年代別では、60歳以上の方が18～29歳及び30歳代に比べ、【食べ残すことがある】と回答した人の割合が高かった。ただし、18～29歳の方が40歳代以上に比べ、食べ残す頻度について「よくある」と答えた人の割合が高かった。(図表 4-1)

【図表 4-1】

Q1 あなたは、自分ひとり又は少人数での外出において、食べ残しをすることがありますか。(SA)

		該当数	よくある	たまにある	ほとんどない	まったくなく	【食べ残すことがある】	【食べ残さない】
全体		1000 100.0	74 7.4	202 20.2	382 38.2	342 34.2	658 65.8	342 34.2
性別	男性	500 100.0	37 7.4	89 17.8	168 33.6	206 41.2	294 58.8	206 41.2
	女性	500 100.0	37 7.4	113 22.6	214 42.8	136 27.2	364 72.8	136 27.2
			p値=0.00000					
年代	18～29歳	200 100.0	27 13.5	43 21.5	55 27.5	75 37.5	125 62.5	75 37.5
	30歳代	200 100.0	17 8.5	32 16.0	76 38.0	75 37.5	125 62.5	75 37.5
	40歳代	200 100.0	8 4.0	43 21.5	76 38.0	73 36.5	127 63.5	73 36.5
	50歳代	200 100.0	11 5.5	40 20.0	86 43.0	63 31.5	137 68.5	63 31.5
	60歳以上	200 100.0	11 5.5	44 22.0	89 44.5	56 28.0	144 72.0	56 28.0
			「よくある」とそれ以外 40歳代と比較 p値=0.00077 50歳代と比較 p値=0.00636 60歳代と比較 p値=0.00636					
			18～29歳と比較 p値=0.04294 30歳代と比較 p値=0.04294					



		(n)	(%)			
全体		1000	7.4	20.2	38.2	34.2
性別	男性	500	7.4	17.8	33.6	41.2
	女性	500	7.4	22.6	42.8	27.2
年代	18～29歳	200	13.5	21.5	27.5	37.5
	30歳代	200	8.5	16.0	38.0	37.5
	40歳代	200	4.0	21.5	38.0	36.5
	50歳代	200	5.5	20.0	43.0	31.5
	60歳以上	200	5.5	22.0	44.5	28.0

## 4-2 食べ残す品目

自分ひとり又は少人数の外出において【食べ残すことがある】人に対し、料理別に残す品目を質問した結果を性別・年代別でクロス集計した。

### 4-2-1 定食料理・セットメニュー

- 定食料理・セットメニューで食べ残した経験及び食べ残す品目を質問したところ、男性は「残したことがない（29.9%）」、女性は「ご飯類（46.7%）」が最も多かった。次いで、男性は「ご飯類（25.5%）」、女性は「漬物（26.4%）」であった。

3番目は、男性は「付け合わせの野菜（21.1%）」と「漬物（21.1%）」であり、女性は「残したことがない（18.7%）」であった。（図表 4-2-1）
- 年代別では、全ての年代で「ご飯類（18～29歳 32.8%、30歳代 35.2%、40歳代 38.6%、50歳代 40.1%、60歳以上 38.9%）」が最も多かった。

次いで、30歳代以下は「漬物（18～29歳 26.4%、30歳代 26.4%）」、40歳代以上は「残したことがない（40歳代 23.6%、50歳代 26.3%、60歳以上 29.2%）」であった。

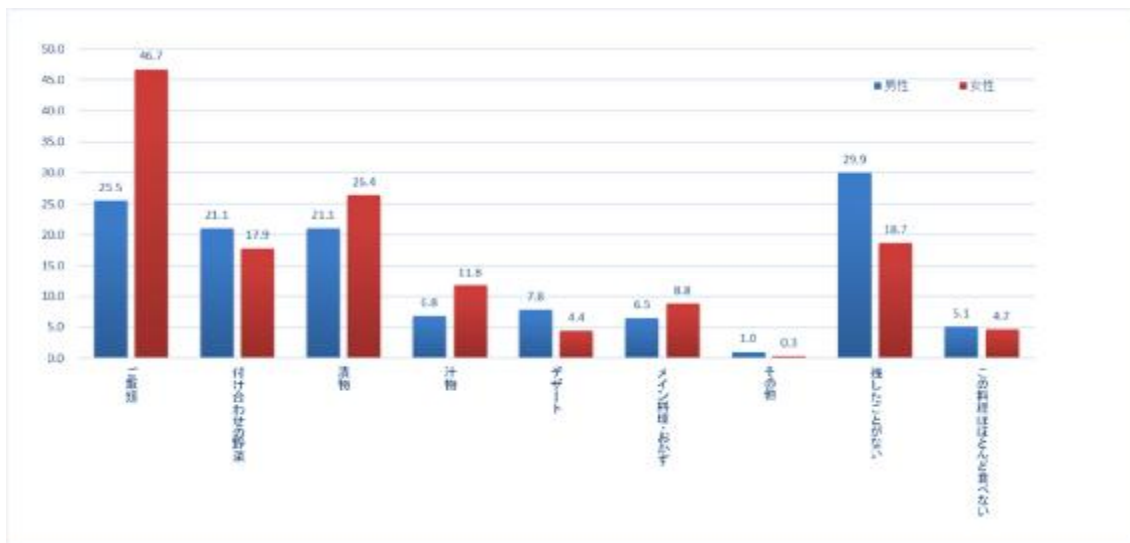
3番目は、18～29歳は「付け合わせの野菜（25.6%）」、30歳代は「残したことがない（24.8%）」、40歳代以上は「漬物（40歳代 19.7%、50歳代 24.8%、60歳以上 22.9%）」であった。（図表 4-2-1）

【図表 4-2-1】

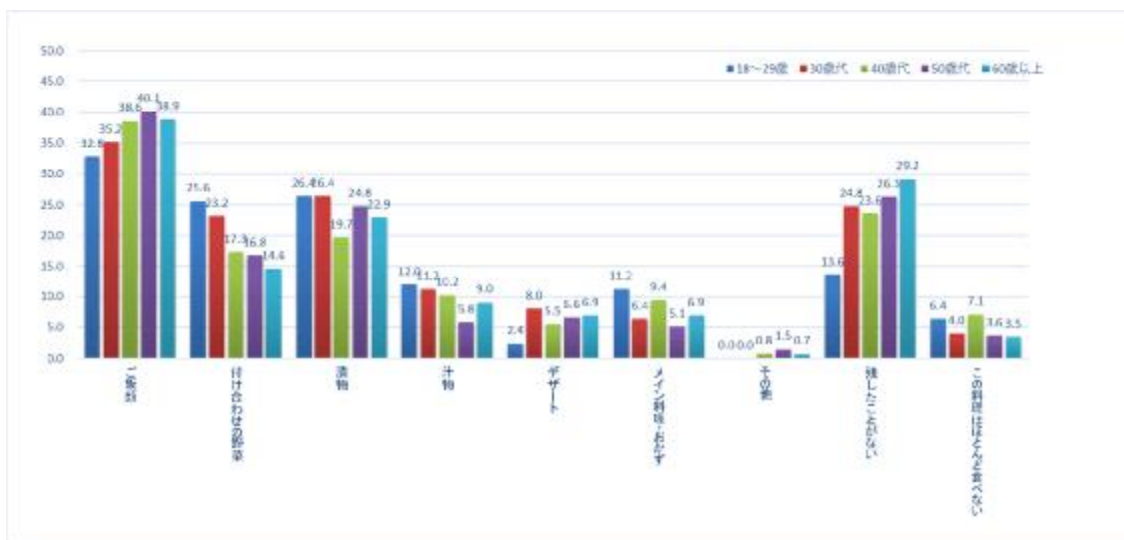
Q2.1 食べ残す料理の形態と、その料理の中で食べ残す品目は何ですか。それぞれあてはまるものをすべて選択してください。／定食料理・セットメニュー(MA)

		該当数	ご飯類	付け合わせの野菜	漬物	汁物	デザート	メイン料理・おかず	その他	残したことがない	この料理はほとんど食べない
全体		658 100.0	245 37.2	127 19.3	158 24.0	63 9.6	39 5.9	51 7.8	4 0.6	156 23.7	32 4.9
性別	男性	294 100.0	75 25.5	62 21.1	62 21.1	20 6.8	23 7.8	19 6.5	3 1.0	88 29.9	15 5.1
	女性	364 100.0	170 46.7	65 17.9	96 26.4	43 11.8	16 4.4	32 8.8	1 0.3	68 18.7	17 4.7
年代別	18～29歳	125 100.0	41 32.8	32 25.6	33 26.4	15 12.0	3 2.4	14 11.2	0 0.0	17 13.6	8 6.4
	30歳代	125 100.0	44 35.2	29 23.2	33 26.4	14 11.2	10 8.0	8 6.4	0 0.0	31 24.8	5 4.0
	40歳代	127 100.0	49 38.6	22 17.3	25 19.7	13 10.2	7 5.5	12 9.4	1 0.8	30 23.6	9 7.1
	50歳代	137 100.0	55 40.1	23 16.8	34 24.8	8 5.8	9 6.6	7 5.1	2 1.5	36 26.3	5 3.6
	60歳以上	144 100.0	56 38.9	21 14.6	33 22.9	13 9.0	10 6.9	10 6.9	1 0.7	42 29.2	5 3.5

### 男女別グラフ



### 年代別グラフ





#### 4-2-2 コース料理

U コース料理で食べ残した経験及び食べ残す品目を質問したところ、男女共に「残したことがない（男性 31.6%、女性 30.5%）」が最も多かった。

次いで、男性は「付け合わせの野菜（18.4%）」、女性は「ご飯類（26.1%）」であった。

3番目は、「この料理はほとんど食べない（男性 18.0%、女性 22.8%）」を除くと、男性は「ご飯類（16.3%）」、女性は「付け合わせの野菜（14.3%）」であった。

（図表 4-2-2）

U 年代別では、18～29歳は「付け合わせの野菜（24.0%）」、30歳代以上は「残したことがない（30歳代 28.0%、40歳代 36.2%、50歳代 32.1%、60歳以上 36.8%）」が最も多かった。

次いで、40歳代を除く年代は「ご飯類（18～29歳 22.4%、30歳代 20.8%、50歳代 24.1%、60歳以上 21.5%）」、40歳代は「この料理はほとんど食べない（22.0%）」を除くと「ご飯類（19.7%）」であった。

3番目は、18～29歳は「残したことがない（20.8%）」と「この料理はほとんど食べない（20.8%）」、40歳代は「付け合わせの野菜（15.7%）」、30歳代、50歳代及び60歳以上は「この料理はほとんど食べない（30歳代 20.0%、50歳代 21.2%、60歳以上 19.4%）」を除くと「付け合わせの野菜（30歳代 18.4%、50歳代 11.7%、60歳以上 11.8%）」であった。なお、50歳代は「漬物（11.7%）」が同率3位となった。

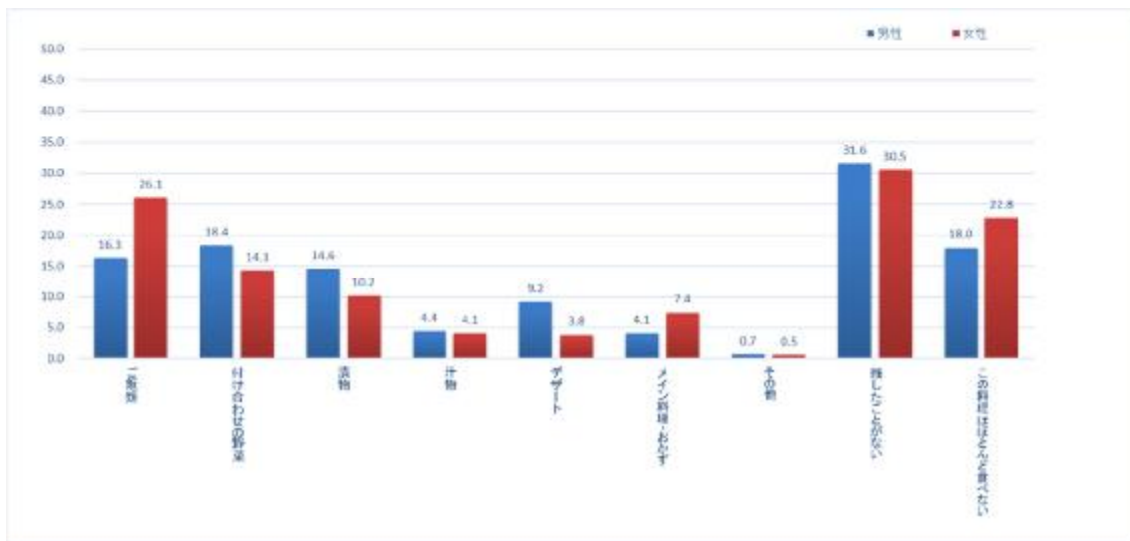
（図表 4-2-2）

【図表 4-2-2】

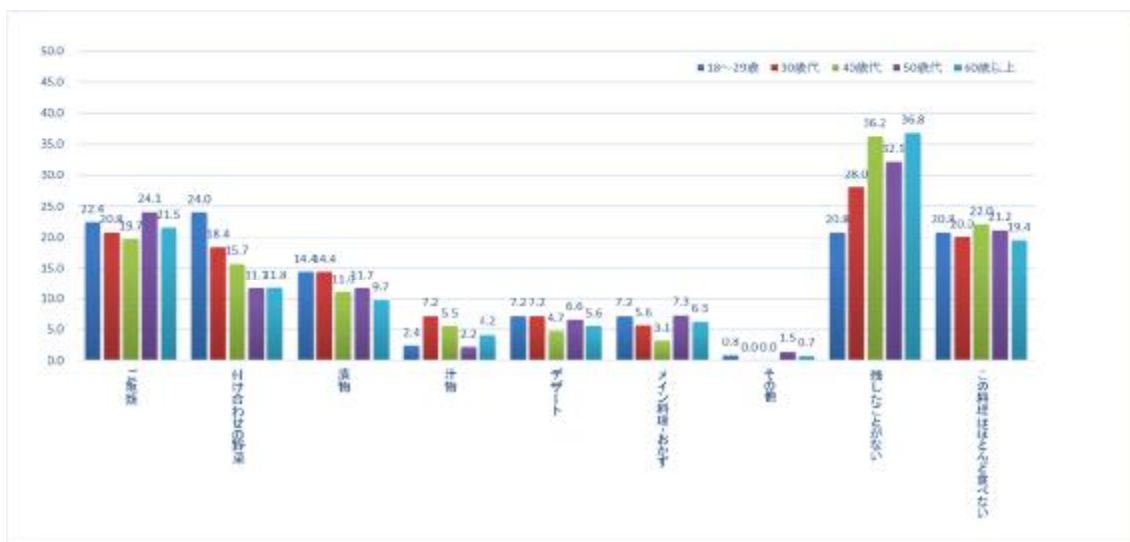
Q2.2 食べ残す料理の形態と、その料理の中で食べ残す品目は何ですか。それぞれあてはまるものをすべて選択してください。／コース料理(MA)

		該当数	ご飯類	付け合わせの野菜	漬物	汁物	デザート	メイン料理・おかず	その他	残したことがない	この料理はほとんど食べない
全体		658 100.0	143 21.7	106 16.1	80 12.2	28 4.3	41 6.2	39 5.9	4 0.6	204 31.0	136 20.7
性別	男性	294 100.0	48 16.3	54 18.4	43 14.6	13 4.4	27 9.2	12 4.1	2 0.7	93 31.6	53 18.0
	女性	364 100.0	95 26.1	52 14.3	37 10.2	15 4.1	14 3.8	27 7.4	2 0.5	111 30.5	83 22.8
年代別	18～29歳	125 100.0	28 22.4	30 24.0	18 14.4	3 2.4	9 7.2	9 7.2	1 0.8	26 20.8	26 20.8
	30歳代	125 100.0	26 20.8	23 18.4	18 14.4	9 7.2	9 7.2	7 5.6	0 0.0	35 28.0	25 20.0
	40歳代	127 100.0	25 19.7	20 15.7	14 11.0	7 5.5	6 4.7	4 3.1	0 0.0	46 36.2	28 22.0
	50歳代	137 100.0	33 24.1	16 11.7	16 11.7	3 2.2	9 6.6	10 7.3	2 1.5	44 32.1	29 21.2
	60歳以上	144 100.0	31 21.5	17 11.8	14 9.7	6 4.2	8 5.6	9 6.3	1 0.7	53 36.8	28 19.4

## 男女別グラフ



## 年代別グラフ



#### 4-2-3 ビュッフェ・バイキング等の食べ放題

- ㊦ ビュッフェ・バイキング等の食べ放題で食べ残した経験及び食べ残す品目を質問したところ、男女共に「残したことがない（男性 38.1%、女性 42.9%）」が最も多かった。次いで、「この料理はほとんど食べない（男性 17.3%、女性 20.9%）」を除くと、男性は「付け合わせの野菜（15.6%）」、女性は「ご飯類（18.1%）」であった。

3番目は、男性は「ご飯類（15.0%）」、女性は「付け合わせの野菜（12.9%）」であった。（図表 4-2-3）
- ㊦ 年代別では、全ての年代で「残したことがない（18～29歳 25.6%、30歳代 33.6%、40歳代 41.7%、50歳代 51.1%、60歳以上 49.3%）」が最も多かった。次いで、18～29歳は「この料理はほとんど食べない（21.6%）」を除くと「付け合わせの野菜（20.0%）」、30歳代は「付け合わせの野菜（20.0%）」、40歳代は「この料理はほとんど食べない（18.1%）」を除くと「ご飯類（17.3%）」、50歳代は「ご飯類（17.5%）」、60歳以上は「この料理はほとんど食べない（24.3%）」を除くと「ご飯類（11.8%）」であった。

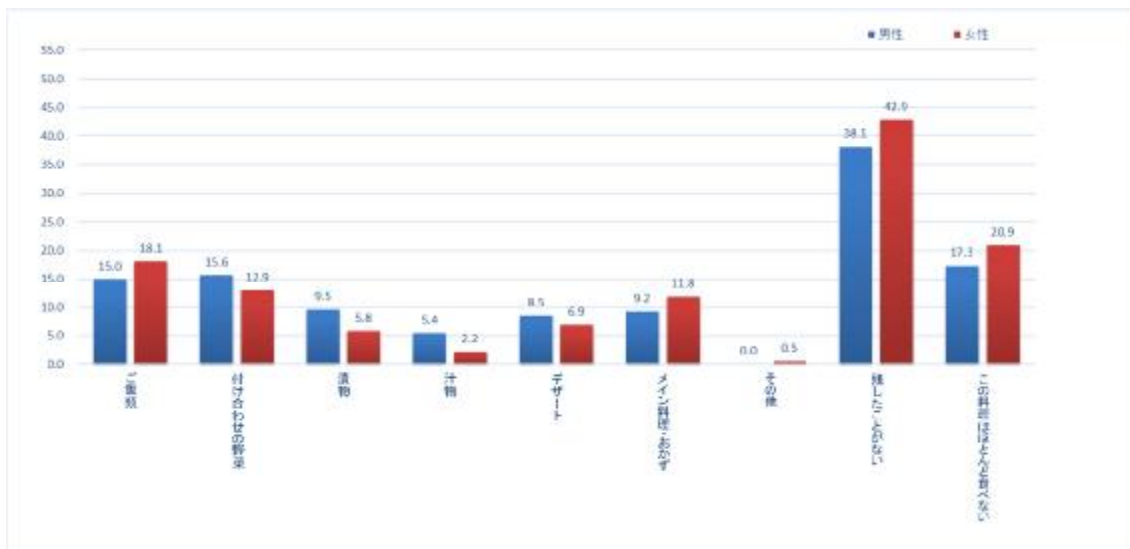
3番目は、30歳代以下は「ご飯類（18～29歳 19.2%、30歳代 18.4%）」、40歳代は「付け合わせの野菜（15.7%）」、50歳代は「この料理はほとんど食べない（14.6%）」を除くと「付け合わせの野菜（9.5%）」、60歳以上は「メイン料理・おかず（7.6%）」であった。（図表 4-2-3）

【図表 4-2-3】

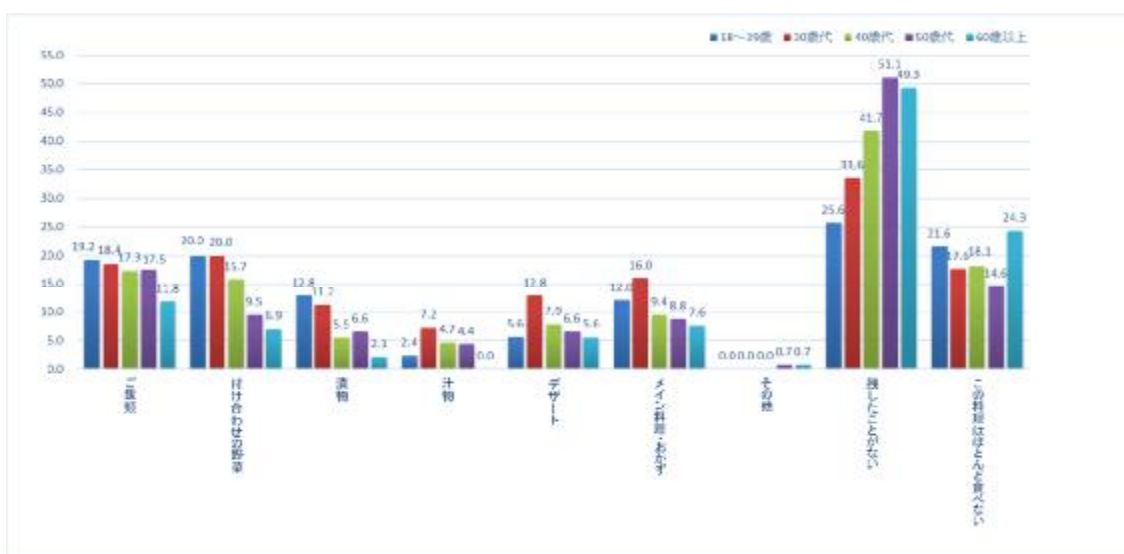
Q2.3 食べ残す料理の形態と、その料理の中で食べ残す品目は何ですか。それぞれあてはまるものをすべて選択してください。／ビュッフェ・バイキング等の食べ放題(MA)

		該当数	ご飯類	付け合わせの野菜	漬物	汁物	デザート	メイン料理・おかず	その他	残したことがない	この料理はほとんど食べない
全体		658 1000	110 16.7	93 14.1	49 7.4	24 3.6	50 7.6	70 10.6	2 0.3	268 40.7	127 19.3
性別	男性	294 1000	44 15.0	46 15.6	28 9.5	16 5.4	25 8.5	27 9.2	0 0.0	112 38.1	51 17.3
	女性	364 1000	66 18.1	47 12.9	21 5.8	8 2.2	25 6.9	43 11.8	2 0.5	156 42.9	76 20.9
年代別	18～29歳	125 1000	24 19.2	25 20.0	16 12.8	3 2.4	7 5.6	15 12.0	0 0.0	32 25.6	27 21.6
	30歳代	125 1000	23 18.4	25 20.0	14 11.2	9 7.2	16 12.8	20 16.0	0 0.0	42 33.6	22 17.6
	40歳代	127 1000	22 17.3	20 15.7	7 5.5	6 4.7	10 7.9	12 9.4	0 0.0	53 41.7	23 18.1
	50歳代	137 1000	24 17.5	13 9.5	9 6.6	6 4.4	9 6.6	12 8.8	1 0.7	70 51.1	20 14.6
	60歳以上	144 1000	17 11.8	10 6.9	3 2.1	0 0.0	8 5.6	11 7.6	1 0.7	71 49.3	35 24.3

## 男女別グラフ



## 年代別グラフ



### 4-3 宴会で食べ残しをする頻度

・宴会で食べ残しをすることがあるかとの質問に対し、「よくある」、「たまにある」「ほとんどない」と回答した層を【食べ残すことがある】、「まったくない」と回答した層を【食べ残さない】とする。

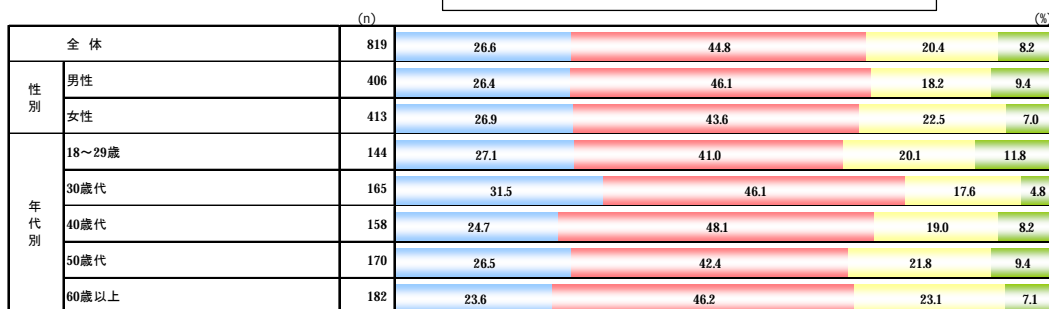
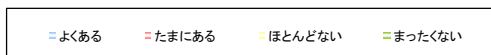
- 宴会で食べ残しをする頻度については、性別で、統計的な有意差はなかった。(図表 4-3)
- 年代別では、30歳代の方が18～29歳に比べ、【食べ残すことがある】と回答した人の割合が高かった。(図表 4-3)

【図表 4-3】

Q10 前問で「参加したことがある」と回答された方に伺います。あなたは、宴会で食べ残しをすることがありますか。(SA)

		該当数	よくある	たまにある	ほとんどない	まったくない	【食べ残すことがある】	【食べ残さない】
全体		819	218	367	167	67	752	67
		100.0	26.6	44.8	20.4	8.2	91.8	8.2
性別	男性	406	107	187	74	38	368	38
	女性	413	111	180	93	29	384	29
		100.0	26.9	43.6	22.5	7.0	93.0	7.0
年代別	18～29歳	144	39	59	29	17	127	17
	30歳代	165	52	76	29	8	157	8
	40歳代	158	39	76	30	13	145	13
	50歳代	170	45	72	37	16	154	16
	60歳以上	182	43	84	42	13	169	13
		100.0	23.6	46.2	23.1	7.1	92.9	7.1

30歳代と比較 p値=0.02527



#### 4-4 宴会で食べ残す理由

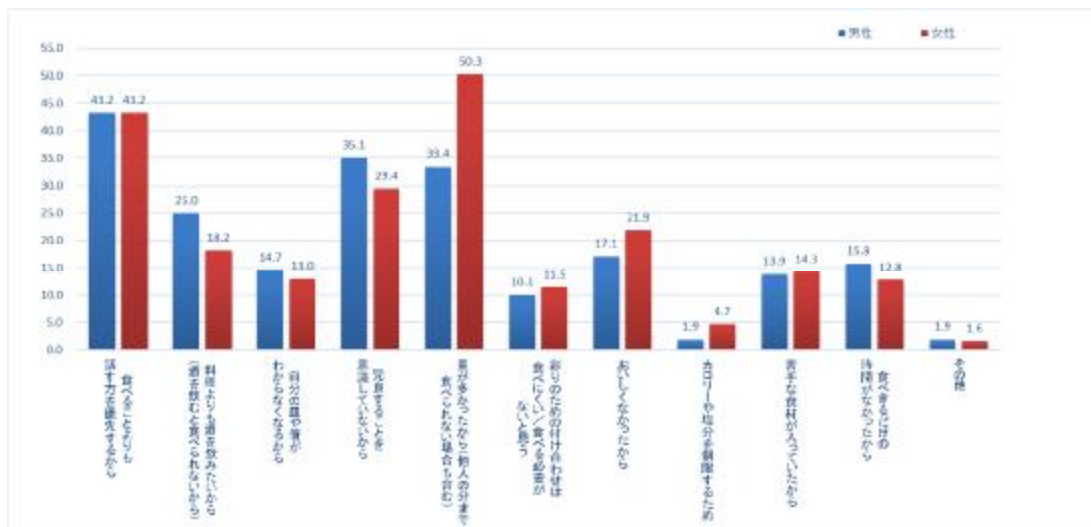
- ㊦ 宴会で食べ残す理由について、男性は「食べることより話す方を優先するから（43.2%）」が最も多く、「完食することを意識していないから（35.1%）」、「量が多かったから（33.4%）」と続いた。女性は「量が多かったから（50.3%）」が最も多く、「食べることより話す方を優先するから（43.2%）」、「完食することを意識していないから（29.4%）」と続いた。（図表 4-4）
- ㊦ 年代別では、18～29 歳、30 歳代及び 50 歳代は「食べることより話す方を優先するから（18～29 歳 48.8%、30 歳代 48.4%、50 歳代 42.9%）」、40 歳代及び 60 歳以上は「量が多かったから（40 歳代 47.6%、60 歳以上 43.2%）」が最も多かった。次いで、18～29 歳、30 歳代及び 50 歳代は「量が多かったから（18～29 歳 35.4%、30 歳代 43.3%、50 歳代 39.6%）」、40 歳代及び 60 歳以上は「食べることより話す方を優先するから（40 歳代 37.2%、60 歳以上 39.6%）」であった。3 番目は、18～29 歳が「料理よりも酒を飲みたいから（26.8%）」、他の年代は「完食することを意識していないから（30 歳代 38.9%、40 歳代 30.3%、50 歳代 34.4%、60 歳以上 30.8%）」であった。（図表 4-4）

【図表 4-4】

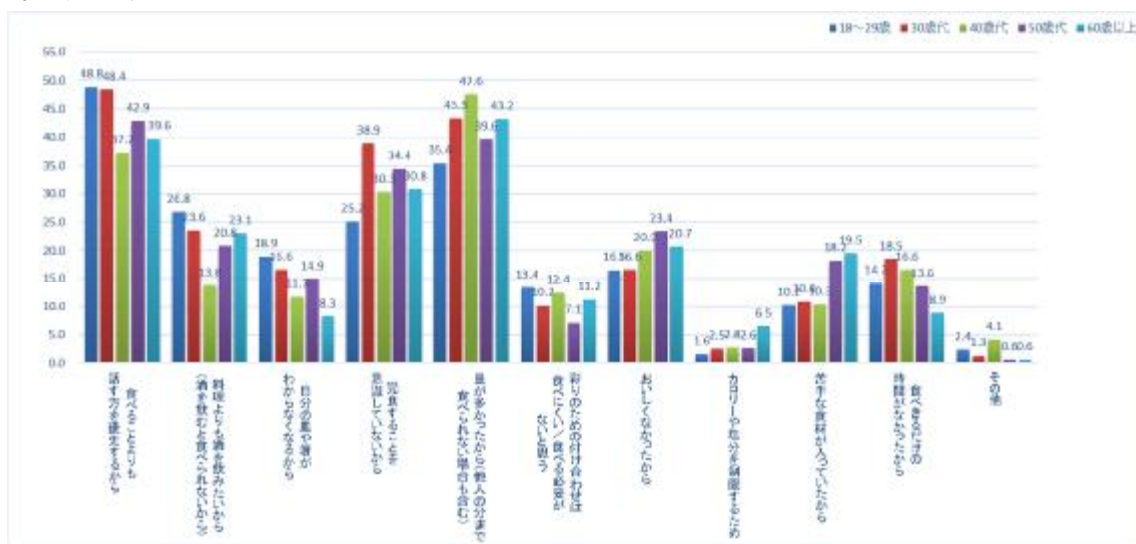
Q11 宴会で食べ残してしまう理由は何ですか。次の中から当てはまるものをすべて選択してください。（MA）

		該当数	を優先することより話す方	れか（酒を飲むと食べたい）	料理よりも酒を飲みたい	わからの血や箸から	自分の血や箸から	い食すことを意識して	完食しないことを意識して	場合も含む）	量が多すぎたから（他人）	要が食べにくいの付け合わせ	彩りのための付け合わせ	おいしくなかったから	制限するため	カロリーや塩分を	から苦手の食材が入っていた	食べ残すだけの時間が	その他
全体		752 100.0	325 43.2	162 21.5	104 13.8	242 32.2	316 42.0	81 10.8	147 19.5	25 3.3	106 14.1	107 14.2	13 1.7						
性別	男性	368 100.0	159 43.2	92 25.0	54 14.7	129 35.1	123 33.4	37 10.1	63 17.1	7 1.9	51 13.9	58 15.8	7 1.9						
	女性	384 100.0	166 43.2	70 18.2	50 13.0	113 29.4	193 50.3	44 11.5	84 21.9	18 4.7	55 14.3	49 12.8	6 1.6						
年代別	18～29歳	127 100.0	62 48.8	34 26.8	24 18.9	32 25.2	45 35.4	17 13.4	21 16.5	2 1.6	13 10.2	18 14.2	3 2.4						
	30歳代	157 100.0	76 48.4	37 23.6	26 16.6	61 38.9	68 43.3	16 10.2	26 16.6	4 2.5	17 10.8	29 18.5	2 1.3						
	40歳代	145 100.0	54 37.2	20 13.8	17 11.7	44 30.3	69 47.6	18 12.4	29 20.0	4 2.8	15 10.3	24 16.6	6 4.1						
	50歳代	154 100.0	66 42.9	32 20.8	23 14.9	53 34.4	61 39.6	11 7.1	36 23.4	4 2.6	28 18.2	21 13.6	1 0.6						
	60歳以上	169 100.0	67 39.6	39 23.1	14 8.3	52 30.8	73 43.2	19 11.2	35 20.7	11 6.5	33 19.5	15 8.9	1 0.6						

### 男女別グラフ



### 年代別グラフ



#### 4-5 宴会での食べ残し防止策

- ㊦ 宴会での食べ残し防止として有効だと思うものは、男女ともに「幹事と店で、事前に食事量の調整をする（男性 42.4%、女性 43.8%）」が最も多く、次いで「完食時に特典を付与する（男性 39.7%、女性 32.2%）」、「宴会コースのお品書きを置く（男性 22.2%、女性 29.5%）」と続いた。
- ㊦ 年代別では、30 歳代以下は「完食時に特典を付与する（18～29 歳 46.5%、30 歳代 44.8%）」、40 歳代以上は「幹事と店で、事前に食事量の調整をする（40 歳代 43.0%、50 歳代 45.9%、60 歳以上 42.3%）」が最も多かった。  
次いで、30 歳代以下は「幹事と店で、事前に食事量の調整をする（18～29 歳 44.4%、30 歳代 40.0%）」、40 歳代及び 50 歳代は「完食時に特典を付与する（40 歳代 41.1%、50 歳代 31.2%）」、60 歳以上は「宴会コースのお品書きを置く（35.7%）」であった。  
3 番目は、50 歳代以下は「宴会コースのお品書きを置く（18～29 歳 23.6%、30 歳代 19.4%、40 歳代 22.8%、50 歳代 26.5%）」、60 歳以上は「わからない（20.9%）」を除くと「完食時に特典を付与する（19.2%）」であった。（図表 4-5）

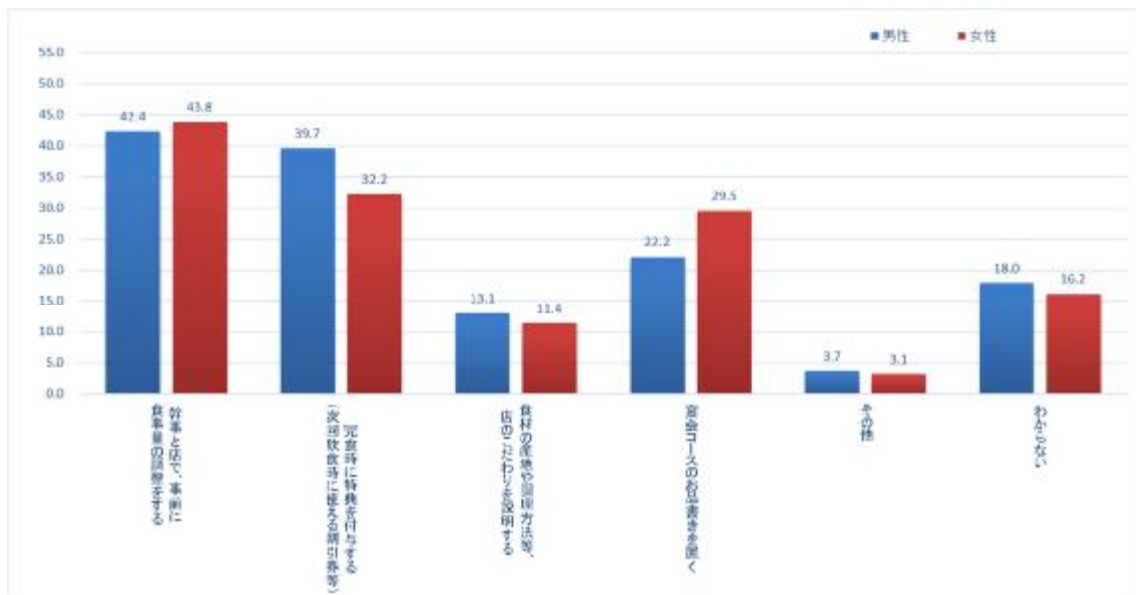
【図表 4-5】

Q12 Q9で「(宴会に)参加したことがある」と回答された方に伺います。宴会での食べ残し防止として有効だと思うものを選択してください。(MA)

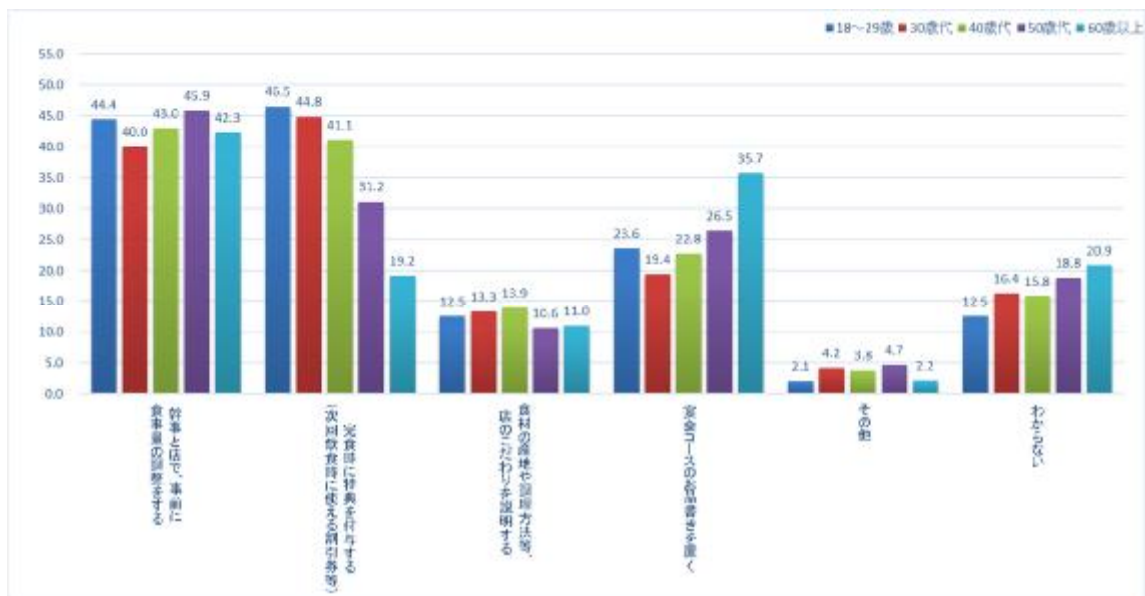
		該当数	幹事と店で、事前に食事量の調整をする	引(〜次食時等)〜完食時に特典を付与する割合	す等食、材の産地や調理方法を説明	置宴会コースのお品書きを	その他	わからない
全体		819 100.0	353 43.1	294 35.9	100 12.2	212 25.9	28 3.4	140 17.1
性別	男性	406 100.0	172 42.4	161 39.7	53 13.1	90 22.2	15 3.7	73 18.0
	女性	413 100.0	181 43.8	133 32.2	47 11.4	122 29.5	13 3.1	67 16.2
年代別	18～29歳	144 100.0	64 44.4	67 46.5	18 12.5	34 23.6	3 2.1	18 12.5
	30歳代	165 100.0	66 40.0	74 44.8	22 13.3	32 19.4	7 4.2	27 16.4
	40歳代	158 100.0	68 43.0	65 41.1	22 13.9	36 22.8	6 3.8	25 15.8
	50歳代	170 100.0	78 45.9	53 31.2	18 10.6	45 26.5	8 4.7	32 18.8
	60歳以上	182 100.0	77 42.3	35 19.2	20 11.0	65 35.7	4 2.2	38 20.9



## 男女別グラフ



## 年代別グラフ



#### 4-6 食品ロス削減の取組みをしている飲食店に対する印象

- ・食品ロス削減の取組みをしている飲食店についてどう思うかとの質問に対し、「好感がもてる」、「どちらかと言うと好感が持てる」と回答した層を【好感が持てる】、「どちらかと言うと好感が持てない」、「好感が持てない」と回答した層を【好感が持てない】とする。
- 食品ロス削減の取組みをしている飲食店に対する印象については、女性の方が、男性に比べ、【好感が持てる】と回答した人の割合が高かった。(図表 4-6)
- 年代別では、60歳以上の方が18~29歳に比べ、【好感が持てる】と回答した人の割合が高かった。(図表 4-6)

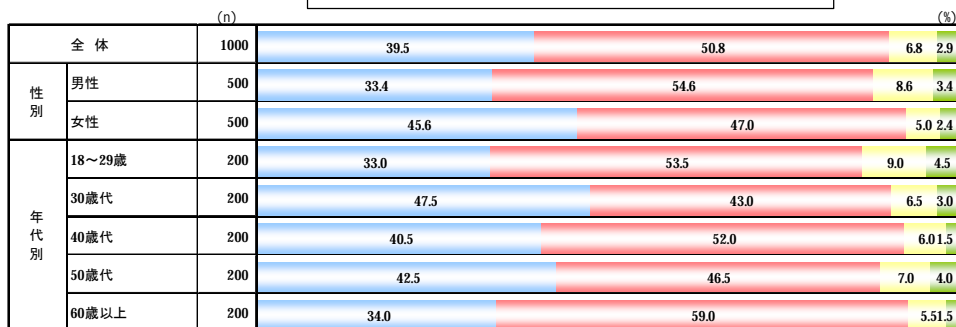
【図表 4-6】

Q8 あなたは、食品ロス削減の啓発ポスターを掲示したり、完食したら特典を付けるなどの食品ロス削減の取組みをしている飲食店についてどう思いますか。(SA)

		該当数	好感が持てる	どちらかと言うと好感が持てる	どちらかと言うと好感が持てない	好感が持てない	【好感が持てる】	【好感が持てない】
全体		1000	395	508	68	29	903	97
		100.0	39.5	50.8	6.8	2.9	90.3	9.7
性別	男性	500	167	273	43	17	440	60
	女性	500	228	235	25	12	463	37
		100.0	45.6	47.0	5.0	2.4	92.6	7.4
年代別	18~29歳	200	66	107	18	9	173	27
	30歳代	200	95	86	13	6	181	19
	40歳代	200	81	104	12	3	185	15
	50歳代	200	85	93	14	8	178	22
	60歳以上	200	68	118	11	3	186	14
		100.0	34.0	59.0	5.5	1.5	93.0	7.0

p値=0.01399

18~29歳と比較 p値=0.03211



#### 4-7 「3010運動」を働きかけられた場合の印象

- ・宴会時に飲食店から「3010運動（※）」を働きかけられたらどう思うかとの質問に対し、「良い取組みだと思う」と回答した層を【肯定層】、「特に何も思わない」、「不快に感じる」と回答した層を【無関心・否定層】とする。

※ 3010運動とは、宴会時の食べ残しを減らすためのキャンペーンで、  
 <乾杯後 30 分間>は席を立たずに料理を楽しみましょう、  
 <お開き 10 分前>になったら、自分の席に戻って、再度料理を楽しみましょう、  
 と呼びかけて、食品ロスを削減するもの。

- 「3010運動」を働きかけられた場合の印象については、女性の方が、男性に比べ、【肯定層】の割合が高かった。（図表 4-7）
- 年代別で、統計的な有意差は見られなかった。（図表 4-7）

【図表 4-7】

Q13 あなたは、宴会時に、飲食店から「3010運動」を働きかけられたらどう思いますか。(SA)

		該当数	良い取組みだと思う	特に何も思わない	不快に感じる	【肯定層】	【無関心・否定層】
全体		1000	542	371	87	54.2	45.8
性別	男性	500	246	205	49	49.2	50.8
	女性	500	296	166	38	59.2	40.8
年代別	18～29歳	200	104	71	25	52.0	48.0
	30歳代	200	110	72	18	55.0	45.0
	40歳代	200	108	76	16	54.0	46.0
	50歳代	200	102	83	15	51.0	49.0
	60歳以上	200	118	69	13	59.0	41.0

p値=0.00151

■ 良い取組みだと思う ■ 特に何も思わない ■ 不快に感じる

